令和元年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

小松公共職業安定所

	項目	目標値	年度の事業計画の概要
主要指標	就職件数（常用）	2,468件	新規来所者、求人検索パソコン利用者へ就職支援メニューをPRし、相談窓口への誘導を積極的に行い、新規求職者の取り込みを図る。 　また、求職者の希望条件・経験等を的確に把握し、きめ細かな職業相談の実施、必要に応じて事業所画像情報等の詳細な企業情報を提供することにより、就職の促進を図る。
主要指標	充足件数（常用、受理地ベース）	2,330件	職場環境や仕事内容等がイメージ出来るよう、求人票の内容の充実を図るとともに、事業所画像情報、業界情報等、求人票以上の情報の収集に努め、求職者へ提供することにより、マッチングの強化を図り、求人の充足を促進する。
主要指標	雇用保険受給者の早期再就職件数	750件	認定日の全員相談、給付制限期間中の来所相談指定等において、マッチングを重視した職業相談の実施等により、就職意欲の喚起を図るとともに、最新の求人情報の提供やセミナー・企業ガイダンス等の周知を行う。
補助指標	求人に対する紹介率	16.3%	採用を急いでいる求人を急募求人として掲示するとともに、一定期間経過した未充足求人を取りまとめ、求職者に広く情報提供を行う。 　また、求職者ニーズを踏まえ、必要に応じて求人の条件緩和指導等を実施する。
補助指標	求職者に対する紹介率	19.2%	求人検索パソコン利用者等に対し、相談窓口への誘導を積極的に行うとともに、担当者制による求職者のニーズの的確な把握により、各種支援メニューの利用勧奨、求人情報の提供を積極的に行い、紹介に繋げていく。
所重点指標（※）	生活保護受給者等の就職件数	50件	地方公共団体や関係機関との連携強化に努め、支援対象者の的確な選定、ハローワークへの誘導や定期的に巡回相談を実施するとともに、相談窓口においては担当者制による職業紹介・相談等を実施することにより、就職の促進を図る。
所重点指標（※）	障害者の就職件数	166件	障害者職業センターや障害者就業・生活支援センター等の支援機関との連携強化、精神障害者トータルサポーターの活用等による障害者自身の自己理解の促進、ジョブコーチ制度の活用等により、障害者の就職促進を図る。
所重点指標（※）	正社員求人数	8,380件	求職者のニーズや充足状況を十分に踏まえ、パートタイム等の非正規雇用求人の提出事業所に対し、各種雇用関係助成金制度の周知、条件緩和指導等を通じて、正社員求人への転換指導等を行うことにより、求人の確保に努める。
所重点指標（※）	正社員就職件数	1,251件	正社員就職希望者はもとより、非正規雇用での就職を希望する者の中で正社員就職の可能性が高い者等に対し、担当者制による綿密な職業相談等を通じての的確な求人情報の提供、トライアル雇用制度の活用等により、正社員就職を促進する。

※年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。